



Air Purifiers for the Taj Mahal

インドの大気汚染悪化によりタージ・マハルが変色!?



インドの首都ニューデリーの大気汚染レベルが中国・北京の3倍以上にまで達した

これだけは覚えておきたい!!

air purifier [éər pjúəɹəfàɪə]	空気清浄機
cleanse [klénz]	～を浄化する、清掃する
monument [mɒnjəmənt]	(歴史的な)建造物、遺跡
unbearable [ʌnbéərəbəl]	耐え難い
smog [smág]	スモッグ、煙霧

聴くこと、声に出すことが成長への近道!

🎧 編集長おすすめトレーニング

Practice 1 英文を見ずに、CNNの生英語 (3) を聴いてみよう。

Check!

Practice 2 英文を見ながら音声を聴いてみよう。
必要ならゆっくりスピード (ポーズなし (4) / ポーズ入り (5)) も活用してみてください。

Practice 3 日本語訳を参考に内容を理解し、音声を繰り返し聴いて耳を慣らそう。
さらに、音声をまねながら音読すると、吸収力がグンと上がります。

プラスアルファ 余力のある方は、別冊付録の問題集にチャレンジしてみてください。

Air Purifiers for the Taj Mahal

Indian authorities are taking measures to protect one of the Seven Wonders of the World from high levels of pollution. Air purifiers have been deployed to cleanse the historic Taj Mahal. The monument has been turning yellow, **due to** the unbearable amount of smog. The historic landmark is located in Agra, one of the world's most polluted cities.

≫58 words (November 5, 2019)

インドの大気汚染悪化によりタージ・マハルが変色!?

インド当局は、深刻なレベルの大気汚染から「世界七不思議」の一つを保護するための対策を講じている。歴史あるタージ・マハル（付近の空気）を浄化するため、空気清浄機が配備された。その建造物は耐え難い量のスモッグが原因で、黄色く変色してきている。この歴史的な名所は、世界で最も汚染がひどい都市の一つ、アグラにある。

（訳 石黒円理）

リスニングのポイント

本当はカナ表記では正確な発音を表せないのですが、音の大体のイメージをつかんでいただくために、あえてカナ表記を用います。「聞こえ方」のひとつの目安にしてください。

最近のイギリス英語では、[デュ]の音が、
しばしば[チュ]のように聞こえる。
3行目の **due to** ≫ [チュートゥ]

カナ表記の中の太字は、強く発音される部分を表します。
また、括弧に入っている部分は、普通、日本人の耳には聞こえないか、実際に発音されていない音を表します。

最近のイギリス英語では、[デュ]の音（発音記号では [dʒ]）が、しばしば[チュ]のように聞こえます。ここでは、**due** が [チュ]のように聞こえ、**Jew** と同じ発音になっています（アメリカ英語では、**due** は **do** と同じ発音になりますので、**due to** は [ドゥール] のように聞こえます）。また、**duty** は、日本語では「デューティー」と言いますが、最近のイギリス英語では、[チュエティー] のように聞こえます（アメリカ英

語では、[ドゥーリー]に近い響きになります）。同様に、**produce** や **reduce** の **-duce** の部分が [チュース] のように聞こえ、**juice** と同じ発音になったり、**dual** が [チュエオ] のように聞こえ、**jewel** と同じ発音になったりします。（アメリカ英語では、**-duce** の部分が [ドゥース] のように、**dual** が [ドゥエオ] のように聞こえます。）

解説 南條健助（桃山学院大学国際教養学部准教授）